

「サステナブル・キャピタリズム」を考えよう

ガーナで取り組む ≪経済×文化×環境＝SDGs≫



新たな資本主義の形から、持続可能な社会の在り方について考える

「世界最大級の電子機器の墓場」と呼ばれるガーナのスラム街で、経済・文化・環境の3つの軸が好循環する新しい資本主義「サステナブル・キャピタリズム」を推進し、社会課題の解決を目指す法政大学の卒業生がいます。

スラム街の環境・貧困問題を、ビジネスでどう解決していくか。実際のガーナの現場における「サステナブル・キャピタリズム」のお話をお聞きし、持続可能な社会の在り方について一緒に考えてみませんか？



概要

- ・日時：11月17日(月) 17:00～18:00
- ・場所：法政大学市ヶ谷キャンパス 大内山校舎8階 Y803
※アクセスは[こちら](#)をご参照ください
- ・対象：法政大学および連携する大学・高校に所属する学生
全学部・全学年 対象
- ・講師：木村 太一 氏 MAGO MOTORS JAPAN株式会社 取締役
(法政大学経済学部卒業)



【講師プロフィール】

1988年生まれ、福井県福井市出身。商社、総合コンサルティングファーム、スタートアップ企業の3社を経て、2022年9月、美術家・長坂真護と共にMAGO MOTORS JAPAN株式会社を設立。「世界最大級の電子機器の墓場」と言われるガーナのスラム街の環境・貧困問題を、ビジネスを通じて解決すべく、EV事業・リサイクル事業・農業などを推進。ゼロから事業を立上げ、2025年7月時点でガーナ現地で119名の雇用を創出。経済・文化・環境(社会貢献)の3軸が好循環する新しい資本主義の仕組み「サステナブル・キャピタリズム」を提唱し、2030年までに1万名の雇用を目指す。

▶▶申し込みはこちら！(申込期限は11月17日(月)正午まで！)

下記URLまたはQRコードから申込フォームにアクセスしてください

(申込フォームURL) <https://forms.gle/d1UY9hsAwzr771uh8>

